

お知らせ 平成28年度 スポーツ指導者研修会 兼トレーニングセミナー開催

スポーツの指導者等が、スポーツ選手に必要な最高のパフォーマンスを継続して発揮するためのトレーニング方法や競技者の安全対策の知識・技能を習得し、指導者の育成と指導の資質向上を図ります。

1. 日 程 平成29年3月25日(土) 午前9時30分から
2. 会 場 稚内市総合体育館
3. 実技内容
 - ①部位別テーピングの方法
 - ②競技種目及び目的に応じたトレーニング方法
用具・器具を使用したトレーニング、ストレッチング
講師 五十公野 修氏
(スポーツトレーナー、(有)イズミック代表取締役)

自然の家から主催事業のお知らせ

●わんぱくチャレンジ早春「わくわく自然塾」

期 日：3月25日(土)～26日(日)
場 所：稚内市少年自然の家
対 象：小学校4年生から5年生 20人
参加費：1,500円
内 容：課題学習、アイス作り、ダーツ、ニュースポーツ、畳コースター作り



※詳しくは学校から配られるチラシをご覧ください。

合宿の里わっかない

- 【成績】**
8月に合宿を行っている白鷗大学、大阪学院大学、仙台大学、大東文化大学、札幌大学、関西学院大学の男子バスケットボール部が、第68回全日本大学バスケットボール選手権大会に出場し、白鷗大学が見事第3位に輝き、関西学院大学が第8位入賞となりました。
- 【実績】**
- ◆札幌月寒高校野球部
平成29年1月9日～12日
3泊4日 31人(延べ宿泊93人)
 - ◆北海学園バトミントン部(男女)
平成29年3月7日～10日 3泊4日 18人(延べ宿泊54人)
 - ◆千葉大学バスケットボール部(男女)
平成29年3月9日～14日 5泊6日 38人(延べ宿泊数190人)
 - ◆日本女子体育大学バスケットボール部
平成29年3月16日～18日
2泊3日 101人(延べ宿泊数202人)
 - ◆共栄大学女子バスケットボール部
平成29年3月20日～24日
4泊5日 35人(延べ宿泊数140人)
 - ◆北海学園大学卓球部(男女)
平成29年3月23日～27日 4泊5日 18人(延べ宿泊数72人)



小さな掛け金・大きな補償 スポーツ安全保険

5人以上のスポーツ・文化・地域・ボランティア活動に適用される保険です。万が一の事故やケガに備えて、様々な活動をサポートする『スポーツ安全保険』に加入してスポーツを楽しみましょう。

- 保険の内容**
- 対象事故：団体、グループ活動中や活動場所への往復中の事故
 - 保険期間：平成29年4月1日 午前0時から平成30年3月31日 午後12時まで
 - 加入手続き
 - ・加入依頼書は市内体育館施設窓口に備え付けています。
 - ・平成29年度(2017年度)専用以外の加入依頼書は使用できません。
 - ・指定銀行の北洋銀行で振り込む際の手数料は、規定料金となります。詳しくはお問い合わせください。
 - ※北洋銀行以外の金融機関で送金(振込み)される場合は、加入依頼書の「説明」を参照ください。
- 問い合わせ先 体育協会事務局へ

平成29年度加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金(1人当たり)	傷害保険				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)		
子ども (中学生以下 (特別支援学 校高等部の生 徒を含む。))	▶スポーツ活動 ▶文化活動・ボランティア活動・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は 1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	▶上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中・その往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は 1人1億500万円	葬祭費用 180万円
				100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償 合算1事故500万円	対象外
大人 (高校生以上)	▶スポーツ活動 ▶スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下 B 65歳以上	1,850円 1,200円	2,000万円 600万円	3,000万円 900万円	4,000円 1,800円	1,500円 1,000円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は 1人1億円 ※自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	▶文化活動・ボランティア活動・地域活動 ▶準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動中の事故は対象となりません。 ※A2区分には65歳以上の方も加入できます。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		葬祭費用 180万円
	▶危険度の高いスポーツ活動 (アメリカンフットボール、山岳登山など)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

注1「平成29年4月1日」と「掛金の支払手続きを行う日」のいずれか遅い日の満年齢を基準とします。

■慎吾(しんご)
中学と高校ではバスケットをしていました。社会人になってからはスポーツをしていませんでしたが、娘がサッカー少年団に入ってから、サッカーやフットサルをするようになり、仲間と市民フットサル大会などに出場しています。今は、少年団の練習で子供たちとサッカーをするのが一番の楽しみです。

■妻・知美(ともみ)
中学では陸上部、高校はスキー部に所属していました。今は娘の友達のお母さんに誘われてミニバレーを始めました。娘の影響でファミリーフットサル大会に参加して、フットサルも楽しんでます。これからもケガをしない様にミニバレー、フットサルを楽しみたいと思います。

■長女・暢(のん)
友達に誘われて5歳から最北FCサッカー少年団に入団しました。最北FCは女の子が多いので、女子のチームで大会に出て活躍できるようにしたいです。得意のドリブルを活かして、男子にも負けない様に一生懸命練習を頑張っています。

■慎吾さんからのコメント
娘が始めたサッカーが縁で様々な人と出会うことができ、ファミリーフットサル大会に参加し、家族と一緒にサッカーやフットサルを楽しんでいることが嬉しく思っています。娘にはサッカーを通して人と人との繋がり大切さや、仲間を思いやる気持ちを持ち成長してほしいと願っています。これからもサッカーを楽しんで続けていけるように応援していきたいと思っています。

われらスポーツ家族の輪



家族でスポーツに取り組み、楽しんでるスポーツ家族の輪をつないでまいります。今号では、前号の「西岡竜さん」から紹介のあった「山慎吾さん一家」です。